

平成19年度『手づくり郷土賞』

近年、全国各地において、その地域に固有の自然や歴史、伝統、文化に根ざし、地域の個性、独自性を活かした地域づくりの試みが活発化しています。こうした試みは、地域の持つ「よさ」を再認識し、より魅力ある地域づくりをめざして行われるものであり、地域の方々の積極的な参画が得られているケースも多くみられます。

「手づくり郷土賞」は、このような状況を踏まえ、地域の個性、魅力を創出している各種の良質な社会資本を広く募集、発掘し、これを世に広く紹介することにより、このような社会資本整備にあたっての創意・工夫・努力を促し、ゆとりとうるおいのある個性的な地域づくりの一助とすることを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣（旧建設大臣）表彰制度であり、今年度は22回目になります。

近年の社会情勢等を踏まえると、多様な主体の参加と連携による地域づくりを一層推進するとともに、地域づくり活動の意欲を増進することが必要となっています。そのため、国土交通省は、平成13年度から、社会資本と関わりを持ちつつ、地域の個性、魅力、活力を創出している、地域における民間を含めた良質な活動についても表彰することとし、良質な社会資本を表彰する〔地域整備部門〕と、社会資本と関わりを持つ良質な活動を表彰する〔地域活動部門〕の2

部門で実施しています。また、平成17年度から、「手づくり郷土賞」を受賞してから10年以上にわたって地域の魅力を創出し、または地域のシンボルとなっている各種の良質な社会資本を選定する〔大賞部門〕を設けました。

今年度は、全国各地から〔地域整備部門〕13件、〔地域活動部門〕20件、〔大賞部門〕19件、合計52件の応募があり、そのうち〔地域整備部門〕7件、〔地域活動部門〕9件、〔大賞部門〕11件、合計27件が選定されました。

北海道からは「地域活動部門」、「大賞部門」に各1件の応募があり、〔地域活動部門〕に室蘭市から推薦された『文化も発信できる港まちづくり』（活動主体：NPO法人羅針盤）、〔大賞部門〕に岩見沢市の「利根別川千本桜並木道」が選定されました。

12月11日に室蘭市、12月18日に岩見沢市で行われた認定証伝達式では、それぞれ、鈴木英一北海道開発局長または菊地弘美北海道開発局次長から認定証が伝達され、佐々木寛(財)北海道開発協会専務理事から記念品が贈呈されました。

(全国の選定結果)

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/011119_2_.html



【地域活動部門】

文化も発信できる港まちづくり

(活動主体：NPO法人 羅針盤)

室蘭市

室蘭市は工業港としての室蘭港を中心に製鋼、製鉄業で発展したマチですが、工場の人員削減等により人口も減少し、マチに元気がなくなっています。そのような中、室蘭港中央埠頭ふとうでの活動を中心に文化を発信し、中央埠頭に人を集めることで周辺市街地を含めてマチを活性化させようと、平成14年に羅針盤が設立されました。



室蘭港中央埠頭には旅客船対応の岸壁や緑地が整備されており、その背後には市営3号倉庫が立地されています。ここを市民に開かれた施設として活用し、市街地との一体化を図り、産業・流通だけでなく文化も発信できる港まちづくりを目指して活動しています。

主な活動内容は、みなとまちの再生を目的として、室蘭港中央埠頭や倉庫を利用し、周辺商店街との連携を図ったコンサート・フリーマーケット等を行うシーサイドフェアを実施しています。また、日本や室蘭の良さを理解してもらう大型客船歓迎イベントや、全道への文化の発信をねらった室蘭ジャズクルーズへの協力も行っています。

さらに、室蘭港立市民大学を設立し、講演会やワークショップを開催し、まちづくりのための人材育成やネットワークづくりにも寄与しています。



【大賞部門】

利根別川千本桜並木道

岩見沢市

利根別川は岩見沢市の市街地を東部の丘陵地から南西に流れる河川で、緑の少ないまちなかの貴重な緑地空間となっています。



汚れにより川遊び等ができない状況でしたが、昔のように子供が遊べるきれいな川へ蘇よみがえらせようと、平成3年に市民の有志約1,200人により第1回利根別川クリーングリーン作戦を開催し、ゴミ拾い・散策を行い、また川を見つめ直す機会として千本桜の植樹や花の植栽なども併せて行いました。

市民植樹による桜の木が成長し、春の桜の開花期には花のトンネルとなっています。市街地を流れる河川沿線のため、朝晩の散歩やジョギング、犬の散歩などに利用され、平成15年には市民が選んだマイプロムナード（私の散歩道）にも選定されています。

維持管理においては、利根別川をきれいにする市民の会や少年団、学生、町内会の高齢者など、多世代にわたる市民が主体となっています。

毎年の岩見沢市の一大イベントとして定着した利根別川クリーングリーン作戦は現在では約3,500人の市民が参加するまでとなりました。

作戦の開催により、市民の地域への環境美化への意識の高まりや作戦で収集するゴミの量の減少など、利根別川千本桜並木道の取組が岩見沢市のまちづくりに与えている影響は大きなものがあります。

